

# 2018年度 決算説明会資料

## JT Group CFO 見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※用語の定義については、スライド13、14に記載しております。

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

## 為替一定調整後営業利益 : Mid to high single-digit成長を達成

	(億円)		
	2018年度 実績	対前年	対修正見込
<b>為替一定ベース</b>			
調整後営業利益	6,372	+8.9%	+132
<b>財務報告ベース</b>			
売上収益	22,160	+3.6%	+260
調整後営業利益	5,955	+1.7%	+205
営業利益	5,650	+0.7%	+330
当期利益	3,857	-1.7%	+157
FCF	1,056	+330億円	-614

### 為替一定調整後営業利益

- 海外たばこが牽引し、8.9%成長
  - 前年の海外たばこにおける一過性の損失影響を除いても約5%の成長

### 調整後営業利益

- 事業パフォーマンスを為替の不利な影響等が相殺

### 営業利益

- 買収に係る商標権償却費の増加

### 当期利益

- 金融費用の増加

### FCF

- (+) 不動産売却益の増加、運転資本の改善
- (-) 買収関連支出、資本的支出

(修正見込からの増減要因)

### 調整後営業利益

- 国内たばこ、海外たばこ、医薬が修正見込を上回る実績
- 為替影響の緩和

### 営業利益

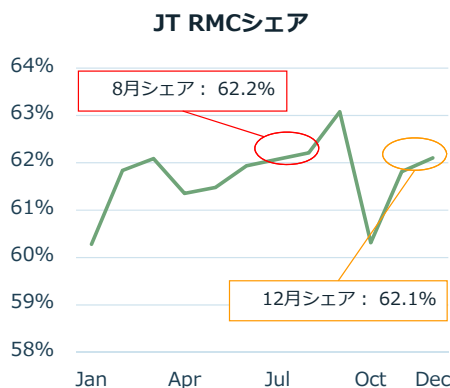
- 想定を上回る不動産売却益

## 国内たばこ事業 (実績)

### RMC : 市場の底堅さを確認 RRP : 想定通りの進捗

#### RMC実績

- 販売数量は対前年で減少も、定価改定後の販売実績は想定を上回る
- 12月のシェアは定価改定前の水準へ回復
- 通年でもシェア61.8% (+0.5ppt)



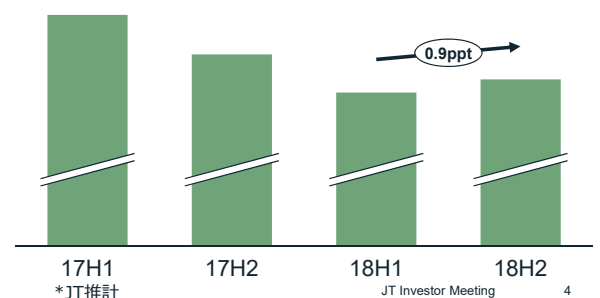
#### RRP実績

- 通年の市場占有率 : 約21%
- Ploom TECH 販売実績 : 28億本
- Q4カテゴリー内シェア : 約10%と推計

#### トータルシェア

- 回復基調

#### トータルシェアの推移イメージ\*



## 厳しい環境の中、翌期以降に向けた投資を強化

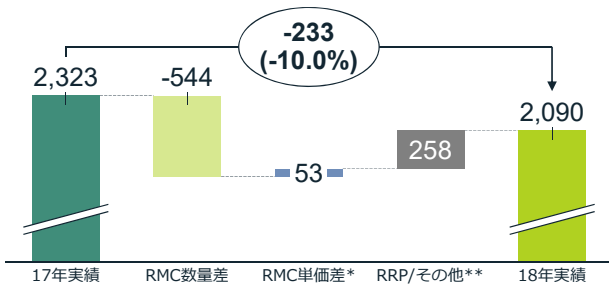
(億円)

	2018年度 実績	対前年
自社たばこ製品 売上収益	5,824	-1.4%
調整後営業利益	2,090	-10.0%

### 自社たばこ製品売上収益

- RMCの大幅な数量減少を、RRP伸長、RMC単価効果がほぼ相殺
- RRP関連売上収益：646億円
  - 自社たばこ製品売上収益の1割強を占める規模へ

### 調整後営業利益ロードマップ (億円)



\*IFRS15号影響を含む

\*\*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

© Copyright JT 2019

RRP: 喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品

RMC: 紙巻たばこ

Tokyo - February 8, 2019

JT Investor Meeting

5

### 調整後営業利益

- (-) RMC販売数量減少
- (-) RRPを中心に販促投資の強化
- (+) 10月定価改定に伴うRMC単価効果発現
- (+) RRP販売数量増加

## 財務報告ベースでも増益

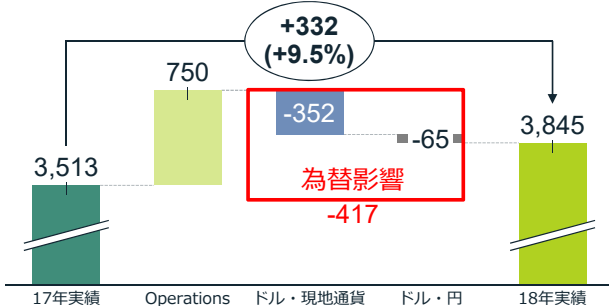
(億円)

財務報告ベース	2018年度 実績	対前年
自社たばこ製品 売上収益	12,507	+6.3%
調整後営業利益	3,845	+9.5%

### 事業パフォーマンスが為替の不利な影響を上回る

- プライシングが牽引
- 前年の一過性の損失（219億円）を除いても増益
- 為替影響：-417億円
  - IRR, RUBの下落が主因

### 調整後営業利益ロードマップ（財務報告ベース） (億円)



### 対ドルレートの変移

	2017	2018	変化率
USD/IRR	38,811	61,649	37.0%安
USD/TRY	3.64	4.82	24.5%安
USD/RUB	58.35	62.68	6.9%安
USD/JPY	112.16	110.44	1.5%高

JTGのイラン市場での外貨調達にはEURのみで、EUR/IRR換算から上記表のUSD/IRRを算出

© Copyright JT 2019

Tokyo - February 8, 2019

JT Investor Meeting

6

**医薬事業：ロイヤリティ収入増を主因に増益**  
**加工食品事業：原材料費高騰に伴い減益**

医薬事業 (億円)			加工食品事業 (億円)		
	2018年度 実績	対前年		2018年度 実績	対前年
売上収益	1,140	+8.9%	売上収益	1,614	-1.1%
調整後営業利益	284	+18.0%	調整後営業利益	41	-23.6%
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイヤリティ収入の増加、導出品に係るマイルストーン収入</li> <li>2018年実績には抗HIV薬関連の契約解消影響なし</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>厳しい競争環境を背景とするトップライン伸び悩み</li> <li>原材料費の高騰が損益を圧迫</li> </ul>		

全社見込

**たばこ事業はMid to high single-digit利益成長を目指す**  
**引き続き為替のネガティブな影響を見込む**

(億円)

**為替一定調整後営業利益：+2.4%の成長**

- たばこ事業トータル（国内+海外）で約7%の成長
  - 国内たばこ：増益転換を目指す
  - 海外たばこ：プライシングが牽引する高成長継続
- 医薬：大幅な減益

**財務報告ベース**

- 営業利益、当期利益は減益の見通し
  - (-) 為替影響：600億円超
  - (-) 不動産売却益の減少、商標権償却費の増加
  - (+) 医薬事業一時金収入
- FCF
  - 前年から大幅な改善を見込む

	2019年度 見込	対前年
<b>為替一定ベース</b>		
調整後営業利益	6,100	+2.4%
<b>財務報告ベース</b>		
売上収益	22,000	-0.7%
調整後営業利益	5,460	-8.3%
営業利益	5,400	-4.4%
当期利益	3,700	-4.1%
FCF	3,600	+2,544億円

## 販促投資を強化しつつ、RMC・RRPトータルで増益を目指す

(億円)

	2019年度 見込	対前年
自社たばこ製品 売上収益	6,200	+6.5%
調整後営業利益	2,150	+2.9%

### 自社たばこ製品売上収益

- RRP：2種類の新製品を加え売上収益拡大  
(自社たばこ製品売上収益の15%~20%)
- RMC：販売数量減少も、前年の定価改定に伴う  
単価効果を主因に減少幅縮小

### 調整後営業利益

- 利益目標達成を優先し柔軟に事業運営
  - (+) RMCの単価効果
  - (+) RRPトップライン伸長
  - (-) RRP販促投資増強

### 業績予想の主な前提条件

- 総需要（RMC+RRP）：対前年約5%の減少

	総需要	JT数量
RMC	対前年7%台前半の減少	対前年7%台後半の減少
RRP	対前年3%台前半の増加 (市場占有率：22%~ 23%になる見込)	RMC換算で50億本程度

© Copyright JT 2019

RRP: 喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品

RMC: 紙巻たばこ

Tokyo - February 8, 2019

JT Investor Meeting

9

## ビジネスモメンタムは好調も、現地通貨安の影響を見込む

(億円)

財務報告ベース	2019年度 見込	対前年
自社たばこ製品 売上収益	12,400	-0.9%
調整後営業利益	3,560	-7.4%

### 調整後営業利益

- 引き続き堅調なプライシングを見込む
- M&Aの貢献
- IRR, RUB等ローカル通貨安の為替影響：約600億円
- ドル円影響：限定的

ドルベースの為替一定調整後営業利益：+8.8%成長

### 対ドルレートの変移

	2018	2019	変化率
USD/IRR	61,649	85,000	27.5%安
USD/TRY	4.82	5.50	12.3%安
USD/RUB	62.68	67.40	7.0%安
USD/JPY	110.44	110.00	0.4%高

JTGのイラン市場での外貨調達にはEURのみで、EUR/IRR換算から上記表のUSD/IRRを算出

© Copyright JT 2019

Tokyo - February 8, 2019

JT Investor Meeting

10

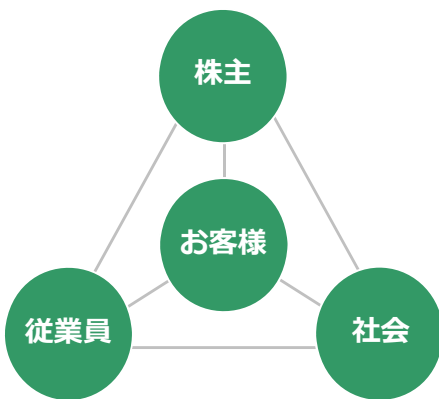
**医薬事業：抗HIV薬に係る国内ライセンス契約解消と海外ロイヤリティ減少が影響**  
**加工食品事業：生産性向上により増益**

医薬事業	(億円)		加工食品事業	(億円)	
	2019年度見込	対前年		2019年度見込	対前年
売上収益	810	-28.9%	売上収益	1,620	+0.4%
調整後営業利益	50	-82.4%	調整後営業利益	50	+21.3%

- 国内の抗HIV関連収益剥落
- 海外ロイヤリティ減少

- 売上収益はほぼフラット
- 生産性向上により増益

## Closing remarks



- 2018年実績：
  - 事業パフォーマンス堅調、事業基盤を着実に強化
- 2019年見込：
  - たばこ事業トータルでMid to high single-digitの利益成長率を目指す
- 一株当たり配当金
  - 2018年：150円
  - 2019年：154円
  - 今後も安定的・継続的な成長を目指す
- 自己株式取得
  - 500億円または23,000,000株を上限に実施
  - 実施期間：2月8日～4月22日

## <用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等
為替一定 調整後営業利益：	海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
四半期利益・当期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益・当期利益
Reduced-Risk Products： (RRP)	喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品
GFB： (Global Flagship Brands)	Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド
総販売数量： (海外たばこ事業)	水たばこ/Reduced-Risk Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む
自社たばこ製品売上収益： (海外たばこ事業)	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Reduced-Risk Productsの売上込み

## <用語の定義>

為替一定ドルベース 自社たばこ製品売上収益/ 調整後営業利益： (海外たばこ事業)	当期の自社たばこ製品売上収益/調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドルの為替レートを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標
たばこ総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体におけるたばこの販売本数（Reduced-Risk Products等を含む）
RMC総需要： (国内たばこ事業)	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Reduced-Risk Products等は含まない）
RMC販売数量： (国内たばこ事業)	国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Productsを除く、JT紙巻たばこの販売本数
RRP販売数量： (国内たばこ事業)	1パック当たり紙巻たばこ20本として換算（デバイス/関連アクセサリ等は含まない）
自社たばこ製品売上収益： (国内たばこ事業)	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Reduced-Risk Products関連の売上を含む
RRP関連売上収益： (国内たばこ事業)	国内たばこ事業における自社たばこ製品売上収益の内訳としての、デバイス/関連アクセサリ等を含む Reduced-Risk Productsの売上